

整理番号 01170

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等） EDTA Calibration Sample
イーディーティーエー キャリブレーション サンプル

販売者情報	会社	LECO ジャパン合同会社		
	住所	〒105-0014 東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号 住友不動産芝ビル 4 号館		
製造者情報	担当	SDS 担当者		
	電話番号	(03) 6891-5800	FAX 番号	(03)6891-5801
	会社	LECO Corporation		
	住所	3000 Lakeview St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.		

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性 : 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2B
生殖毒性 区分 2
特定標的臓器毒性（反復暴露） 全身毒性 区分 1(腎臓)

環境に対する有害性 : 水生環境有害性 短期(急性) 区分 3
水生環境有害性 長期(慢性) 区分 3

ラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 眼刺激。生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害（腎臓）。水生生物に有害。長期継続的影響により水生生物に有害。

注意書き

- 安全対策：使用前に取扱説明書を入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。取扱後は手などをよく洗うこと。この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。環境への放出を避けること。保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 応急措置：眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。
- 保管：施錠して保管すること。
- 廃棄：内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	：	化学物質	
化学名	：	エチレンジアミン四酢酸	
成分および含有量(wt%)	：	100	
化学式又は構造式	：	C ₁₀ H ₁₆ N ₂ O ₈	
官報公示整理番号	化審法	：	(2)-1263
	安衛法	：	対象外
	PRTR法	：	1種 595
CAS No.	：	60-00-4	
国連分類及び国連番号	：	該当しない	

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所へ移す。必要な場合は酸素または人工呼吸を施す。症状がひどくなる/続く場合は医師に連絡する。
皮膚に付いた場合	汚染された衣類と靴を取り除く。皮膚を水/シャワーで洗い流す。
目に入った場合	眼をこすらない。直ちに15分以上大量の水で洗い流す。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外す。すすぎを続ける。刺激がひどくなる/続く場合には医師に連絡する。
飲み込んだ場合	口をすすぐ。大量に呑み込んだ場合は毒物対処センターに直ちに連絡する。アドバイスがあった場合を除き吐かせてはならない。被害者に意識がない時やけいれんを起こしている場合は口から何もあててはならない。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	重篤な眼刺激。症状としては刺すような痛み、涙、発赤、腫れ、視界のぼやけなどがあげられる。症状は遅れて出ることがある。

医師に対する特別な注意事項 医療スタッフが製品について知識があること、スタッフの保護措置についても注意すること。

5.火災時の措置

消火剤	泡、ドライケミカル粉末、CO ₂ 。
使ってはならない消火剤	大量の水流を当てると火災が増大するおそれがある。
火災時の特有の危険有害性	火災時に健康に有害なガスが発生する可能性がある。
消火を行う者の保護	火災時は自給式呼吸器と全身の保護衣を着用する。
消火設備	未開封の容器を冷やすには水スプレーを使用する。
特有の消火方法	周辺火災を考慮し通常の消火方法を用いる。
一般的な火災の危険性	異常な火災や爆発は起こらない。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外を退避させる。清掃中は適切な保護衣を着用すること。ダストを吸引しない。ダスト/ヒュームが暴露限界を超えるおそれがある場合認証済みの呼吸器を使用する。換気をよくする。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	ダストの発生、蓄積を最小限にする。清掃の際にダストが発生しないようにする。ダストが飛散しないように注意する（圧縮空気ですダストを吹き飛ばしたりしない）。適切な廃棄容器に漏出物を掻き入れる、または掃除機で吸い取る。
環境に対する注意事項	環境への放出を防ぐ。

7.取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項	ダストが発生する場所には適切な換気を設ける。ダストの発生、蓄積を最小限にする。ダストを吸入しない。眼への接触を防ぐ。適切な保護具を着用する。取扱後はよく手を洗う。産業衛生に気を配る。環境へ放出しない。
安全な保管条件	製品の入っていた容器のまま保管する。換気の良い場所に保管する。混触危険物との接触を避ける（第10項を参照）。

8.暴露防止措置

職業暴露限界値	設定されていない。
生物学的限界値	生物学的暴露限界値は設定されていない。
設備対策	十分な換気を設ける。

保護具

眼/顔の保護	サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。アイシャワーが推奨される。
皮膚の保護	
手	適切な耐薬品グローブを着用する。
その他	適切な保護衣を着用する。
呼吸器の保護	ダスト/ヒュームへの暴露が許容限界を超えるおそれがある場合認証済みの呼吸器を使用する。
熱的危険	必要な場合熱保護衣を着用する。
一般的な衛生事項	取扱い後と飲食喫煙の前は手をよく洗うなど、産業衛生に気を配り取り扱う。作業着や保護具は定期的に洗浄し汚染を取り除くこと。

9.物理/化学的性質

物理状態

形状	粉末
色	白色
臭い	なし
融点・凝固点	220℃ 推定 融けずに分解する
沸点又は初留点及び沸騰範囲	入手不可
可燃性	入手不可
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	入手不可
引火点	入手不可
自然発火点	入手不可
分解温度	220℃
pH	2.5 推定 (飽和溶液)
動粘性率	入手不可
溶解度	0.2g/l 推定
n オクタノール/水分配係数	入手不可
蒸気圧	入手不可
密度及び/又は相対密度	入手不可
相対ガス密度	入手不可
粒子特性	入手不可

10.危険性情報

反応性 製品は通常の使用、保管、輸送の条件下で安定で非反応性。

化学的安定度	通常の状態安定。
危険有害反応可能性	有害な重合は起こらない。
避けるべき条件	ダストが飛散しないように注意する（圧縮空気ですダストを吹き飛ばしたりしない）。混触危険物質との接触を防ぐ。
混触危険物質	強酸化剤
有害な分解生成物	二酸化炭素。酸化窒素(NO _x)

11.有害性情報

起こりうる暴露についての情報

吸入	ダストを吸入すると気道の刺激を起こすことがある。
皮膚	ダストまたは粉末が皮膚に刺激を起こすおそれ。
眼	眼刺激。
飲み込んだ場合	知られていない。
物理的、化学的、有害性特性に関連した症状	上気道の刺激。重篤な眼刺激。症状は刺すような痛み、涙、発赤、晴れ、視界のぼやけなどがあげられる。

毒物学的影響

急性毒性	区分に該当しない	
製品	種	結果
エチレンジアミン四酢酸 (CAS60-00-4)		
急性 経口 LD50	マウス	30 mg/kg

*製品への評価にはデータとして記載されていない成分が含まれている場合があります。

皮膚腐食性/刺激性	長期的に皮膚に接触すると一時的な刺激を起こすことがある
重篤な眼の損傷性/眼刺激性	眼刺激
呼吸器または皮膚感作性	

呼吸器感作性	入手不可
皮膚感作性	この製品は皮膚感作性を起こすとは考えられていない。

生殖細胞変異原性	入手不可
----------	------

発がん性

IARC Monographs. Overall	入手不可
--------------------------	------

Evaluation of Carcinogenicity

OSHA 特定規制物質 (29CFR 1910.1001-1050)	記載なし
---------------------------------------	------

US. National Toxicology Program(NTP) Report on Carcinogens	入手不可
--	------

生殖毒性	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。
------	-----------------------

特定標的臓器毒性（単回暴露）	分類されていない。
特定標的臓器毒性（反復暴露）	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害（腎臓）
誤えん有害性	入手不可

12.環境影響情報

生態毒性	製品	種	結果
	エチレンジアミン四酢酸 (CAS60-00-4)		
	水生 Crustacea	Water flea (Daphnia magna)	113 mg/l, 48 時間
		Bluegill (Lepomis macrochirus)	34-62 mg/l, 96 時間
	Fish		
残留性/分解性			知られていない。
生態蓄積性			データなし
土壤中の移動性			データなし
オゾン層への有害性			入手不可
その他の有害影響			この製品による環境への悪影響（例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は考えられていない。

13.廃棄上の注意

廃棄手順	内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。
残余廃棄物/未使用製品	入手不可
汚染容器	入手不可

14.輸送上の注意

本製品は DOT,IATA,IMDG において危険品として規制されていない。

15.適用法令

化学物質管理促進法(PRTR 法)： 施行令第2条別表第1(第1種指定化学物質) 595

16.その他の情報

参考文献 本製品の英文 SDS(031017) : LECO Corporation
JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、
作業場内の表示および安全データシート
化学便覧 : 丸善
職場のあんぜんサイト : 厚生労働省
NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構

作成：平成13年10月25日

改訂：平成22年2月26日 法令見直し

平成23年7月11日 住所変更

平成24年6月12日 法令見直し

平成27年1月30日 名称変更

平成28年6月15日 法令見直し

平成29年2月10日 P/N 追加

令和4年2月10日 法令見直し、2019年版 JIS 対応

令和5年4月1日 法令見直し

- * 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。
尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。